

第3回契約監視委員会議事録

日 時 平成22年3月2日（火）15時～17時30分
場 所 東京連絡事務所会議室
出 席 平井昭光委員長 江戸川泰路委員長代理 辻純一郎委員
廣川孝司委員 魚森昌彦委員
契約業務部長 知的財産戦略グループGD 人事部次長 他
事務局 監査・コンプライアンス室

1. 大熊理事あいさつ

大熊理事より、第2回契約監視委員会でご指導いただいたことについて、感謝の意を述べるあいさつがあった。

2. 前回議事録の承認

前回議事録が承認された。

3. 契約全般に係る審議（説明、質疑応答、意見）

（1）「契約における実質的競争性確保に関する点検—物品調達を中心として—」

今回、追加で点検対象となった平成21年度上期分の契約における落札率90%以上及び応札者2者以上の契約51件について各契約担当部署より契約全般に係る説明があった。

委員より合理的な理由がないのにメーカーを指定している契約もあり、一般的な仕様にすべきとの意見があった。また、仕様については、幅広く関係者以外の意見を取り入れるため、第三者性を増すような検討をしてほしい旨の意見があった。

（2）「平成21年度契約事前点検」

契約監視委員会設置から平成21年度末まで（締切2月5日）の契約予定あるいは契約実績で現在把握している案件829件（物品・役務787件、公共工事42件）において、事前点検及び事後点検となるものについて、各契約担当部署より契約全般に係る説明があった。

委員より平成20年度において「競争性のない随意契約」で締結している労働者派遣契約において、平成21年度は一般競争契約に移行しているが、派遣契約はその内容によっては、他の契約方式も考えても良いのではとの意見があった。

また、今後年度末間近での「競争性のない随意契約」については、特に監視する必要があるのではないかととの意見があった。

以上